

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公開番号】特開2017-62409(P2017-62409A)

【公開日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2015-188591(P2015-188591)

【国際特許分類】

G 03 G 9/08 (2006.01)

G 03 G 9/09 (2006.01)

G 03 G 9/087 (2006.01)

【F I】

G 03 G 9/08 3 9 1

G 03 G 9/08 3 6 1

G 03 G 9/08 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月19日(2018.9.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

<1>に係る発明は、

結着樹脂と扁平状の光輝性顔料とを含むトナー粒子を有し、  
トナーにおける無機物以外のトルエン不溶分がトナー全体に対して4質量%以上30質量%以下である光輝性トナーである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

<2>に係る発明は、

前記トナー粒子が、前記結着樹脂として、ウレア変性ポリエステル樹脂を含む<1>に記載の光輝性トナーである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

<3>に係る発明は、

<1>又は<2>に記載の光輝性トナーを含む静電荷像現像剤である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0 0 1 0】**

< 4 >に係る発明は、  
< 1 >又は< 2 >に記載の光輝性トナーを収容し、  
画像形成装置に着脱されるトナーカートリッジである。

**【手続補正5】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 1 1****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0 0 1 1】**

< 5 >に係る発明は、  
< 3 >に記載の静電荷像現像剤を収容し、前記静電荷像現像剤により、像保持体の表面に形成された静電荷像をトナー画像として現像する現像手段を備え、  
画像形成装置に着脱されるプロセスカートリッジである。

**【手続補正6】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 1 2****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0 0 1 2】**

< 6 >に係る発明は、  
像保持体と、  
前記像保持体の表面を帯電する帯電手段と、  
帯電した前記像保持体の表面に静電荷像を形成する静電荷像形成手段と、  
< 3 >に記載の静電荷像現像剤を収容し、前記静電荷像現像剤により、前記像保持体の表面に形成された静電荷像をトナー画像として現像する現像手段と、  
前記像保持体の表面に形成されたトナー画像を記録媒体の表面に転写する転写手段と、  
定着部材と前記定着部材に接触して配置される加圧部材とを有し、前記定着部材と前記加圧部材との接触部で前記記録媒体の表面に転写されたトナー画像を定着する定着手段と、  
、  
を備える画像形成装置である。

**【手続補正7】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 1 3****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0 0 1 3】**

< 7 >に係る発明は、  
像保持体の表面を帯電する帯電工程と、  
帯電した前記像保持体の表面に静電荷像を形成する静電荷像形成工程と、  
< 3 >に記載の静電荷像現像剤により、前記像保持体の表面に形成された静電荷像をトナー画像として現像する現像工程と、  
前記像保持体の表面に形成されたトナー画像を記録媒体の表面に転写する転写工程と、  
定着部材と前記定着部材に接触して配置される加圧部材との接触部で前記記録媒体の表面に転写されたトナー画像を定着する定着工程と、  
を有する画像形成方法である。

**【手続補正8】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 1 4**

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

<1>に係る発明によれば、結着樹脂と扁平状の光輝性顔料とを含むトナー粒子を有する光輝性トナーにおいて、トナーにおける無機物以外のトルエン不溶分がトナー全体に対して4質量%未満である場合に比べ、光輝性顔料による定着部材の傷の発生を抑制する光輝性トナーが提供される。

<2>に係る発明によれば、トナー粒子が結着樹脂として未変性のポリエステル樹脂のみを含む場合に比べ、光輝性顔料による定着部材の傷の発生を抑制する光輝性トナーが提供される。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

<3>、<4>、<5>、<6>、又は<7>に係る発明によれば、結着樹脂と扁平状の光輝性顔料とを含むトナー粒子を有する光輝性トナーにおいて、トナーにおける無機物以外のトルエン不溶分がトナー全体に対して4質量%未満である光輝性トナーを適用した場合に比べ、光輝性顔料による定着部材の傷の発生を抑制する静電荷像現像剤、トナーカートリッジ、プロセスカートリッジ、画像形成装置、又は画像形成方法が提供される。

【手続補正10】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結着樹脂と扁平状の光輝性顔料とを含むトナー粒子を有し、  
トナーにおける無機物以外のトルエン不溶分がトナー全体に対して4質量%以上30質量%以下であり、

前記トナー粒子が、前記結着樹脂として、ウレア変性ポリエステル樹脂を含む光輝性トナー。

【請求項2】

請求項1に記載の光輝性トナーを含む静電荷像現像剤。

【請求項3】

請求項1に記載の光輝性トナーを収容し、  
画像形成装置に着脱されるトナーカートリッジ。

【請求項4】

請求項2に記載の静電荷像現像剤を収容し、前記静電荷像現像剤により、像保持体の表面に形成された静電荷像をトナー画像として現像する現像手段を備え、  
画像形成装置に着脱されるプロセスカートリッジ。

【請求項5】

像保持体と、  
前記像保持体の表面を帯電する帯電手段と、  
帯電した前記像保持体の表面に静電荷像を形成する静電荷像形成手段と、  
請求項2に記載の静電荷像現像剤を収容し、前記静電荷像現像剤により、前記像保持体の表面に形成された静電荷像をトナー画像として現像する現像手段と、  
前記像保持体の表面に形成されたトナー画像を記録媒体の表面に転写する転写手段と、  
定着部材と前記定着部材に接触して配置される加圧部材とを有し、前記定着部材と前記

加圧部材との接触部で前記記録媒体の表面に転写されたトナー画像を定着する定着手段と、  
を備える画像形成装置。

【請求項 6】

像保持体の表面を帯電する帯電工程と、  
帯電した前記像保持体の表面に静電荷像を形成する静電荷像形成工程と、  
請求項2に記載の静電荷像現像剤により、前記像保持体の表面に形成された静電荷像を  
トナー画像として現像する現像工程と、  
前記像保持体の表面に形成されたトナー画像を記録媒体の表面に転写する転写工程と、  
定着部材と前記定着部材に接触して配置される加圧部材との接触部で前記記録媒体の表  
面に転写されたトナー画像を定着する定着工程と、  
を有する画像形成方法。